

JUNIOR PHILHARMONIC ORCHESTRA

せつ お
塚原哲夫 指揮

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ

第11回定期演奏会 “第九の夕べ”



(第1回日本ナショナル・ミュージック・キャンプ演奏会)

1978年

12月16日

渋谷公会堂



指揮者 塚原 哲夫

- 東京芸術大学作曲科、コロンビア大学に学ぶ。
- 作曲を池内友次郎、コーブランド、R・クルカ各氏に、指揮を斉藤秀雄、ラインズドルフ各氏に師事。
- 昭和19年毎日音楽コンクール第一位、26年同管弦楽部門第一位大賞、民放祭第一位、イタリア賞、この他芸術祭賞、文部大臣賞など数多く受賞。
- 現在は才能教育オーケストラ教室の常任指揮者。ビクターレコード“音楽王国”の企画指導、L・モーツアルトの「バイオリン奏法」の翻訳など、主に教育面で活躍。
- 1975年夏には、ブラジルで開催された“国際音楽祭”に客演指揮者として、サンパウロ交響楽団にて自作品を指揮、大好評を受く。
- 1977年1月、オーストラリア政府の招きにより、“National Music Camp”の指導者として2週間指導に行く。

独唱者 (二期会)



ソプラノ

曾我 栄子

国立音楽大学卒業。同専攻科修了。田中伸枝氏に師事。二期会研究生時代より、すぐれた資質をもって頭角をあらわし、オペラ、第九、ドイツ歌曲などの分野で活躍する。特にオペラでは「魔笛」「フィガロの結婚」「タンホイザー」などに出演し大好評を得て、プリマドンナの地位を確保している。



アルト

志村 年子

桐朋学園大学音楽学部卒業。1967年～1970年、フランクフルト国立音楽大学に留学し、卒業時に演奏家としての国家試験に合格、「最優秀賞」を得る。その後、二期会会員として様々なオペラに出演し、大好評を博す。又、リサイタル、第九出演など、充実した活動を続ける。1977年にはウィンナーワールド・オペラ賞を授賞。



テノール

田口 興輔

国立音楽大学卒業。同専攻科修了。武岡鶴代、渡辺高之助両氏に師事。在学中より数々のオペラに出演し、各地で大好評を得ている。又、1964年読売新人演奏会出演を機に“第九”などでも活躍している。1975年文化庁派遣在外研修員として渡欧する。



バス

栗林 義信

東京芸術大学卒業。矢田部勤吉、柴田陸陸両氏に師事。1956年NHK毎日コンクール第1位入賞。1957年文化放送賞受賞。1958年渡伊し、ピオッティ国際音楽コンクールで金賞受賞。1960年帰国し、オペラ、リサイタルなど全国的に活躍し、声楽界第一人者の地位を築く。又、1968年ソ連文化省の招きで訪ソしたのを皮切りに国際的活躍も行う。1975年第7回鳥井音楽賞受賞。

ご挨拶

事務局長 小林道子

本日はご多忙のところをご来場下さいまして厚く御礼申し上げます。

私共ジュニア・フィルは発足以来7年間多くの方々の暖かいご理解並びにご支援を受けて、青少年オーケストラとして歩んでまいりましたが、本年の締め括りとして、本日皆様と一緒にベートーベンの交響曲第9番を演奏できますことを大きな喜びと致しております。

以前より私共はジュニア・フィルの活動が単にそこに属する少数の人達の喜びや成長に役立つのみでなくより多くの青少年の音楽的向上に貢献し、広く音楽運動の母体となり得ることを強い願いと致しておりました。

そうした願いのもとに本夏、第1回ナショナル・ミュージック・キャンプを開催し、日本全国及び米国より約1,300人の青少年の参加を得て一週間近い合宿生活をし、大きな感動をもって、ベートーベンの“第九”を演奏致しましたことは、未だ鮮明に私共の記憶に残るところでございます。

このベートーベンの“第九”は、史上最高の雄大且つ荘厳な交響曲といわれ、今日私共のまわりでも特に年末は演奏される機会が多くなっております。

けれど本日の私共のように8才から50才の心底から音楽好きなアマチュアが集って精一杯の練習をし、心をこめて演奏する“第九”は恐らく世界でも類なきものと自負致します。

私共の音楽監督、塚原哲夫先生は、アマチュアだから、子供だからといっていい加減な演奏をすることは、何もしないよりもっと悪いことだ、といつもいわれ、正しい技術追求と人間的成長は一体のものであるという強い信念のもとに指導がなされております。

その信念の正しさは、発足以来、日本国内、ヨーロッパ、アメリカ等で行った約80回の演奏会の大成功によっても立証されておるところでございます。

本日の演奏もそうした指導のもとに、音楽的技術、年齢、又、人生体験なども異なる約400人の人々が各々真剣に喜びをもって勉強致しました成果が表れ、ご来場下さいました皆様と共に、ベートーベンがあらゆる苦悩を追いながら、シルラーの「歓喜頌歌」を用いて人生のいい知れぬ喜びと感謝を全能の神に献げた作品といわれるこの“第九”に、深い感動をもって接することが出来ますことを心より願っております。

我国では青少年及びアマチュアの音楽活動に対してまだまだ理解も援助も得にくい状態でございます。が、そうした中で、本日私共の演奏会を助けて下さった出演者の方々、又ご来場下さいました皆様のようにすばらしい多くの理解者を得て“第九”が演奏されることを、奇しくも本日が誕生日に当たります作曲者のベートーベンも、天上にて心からの拍手を送ってくれるものと信じます。

又、本日の演奏会を機会に、青少年の音楽活動の輪が更に大きく広がって発展してゆくよう、今後共皆様の暖いご声援をお願い申し上げる次第でございます。

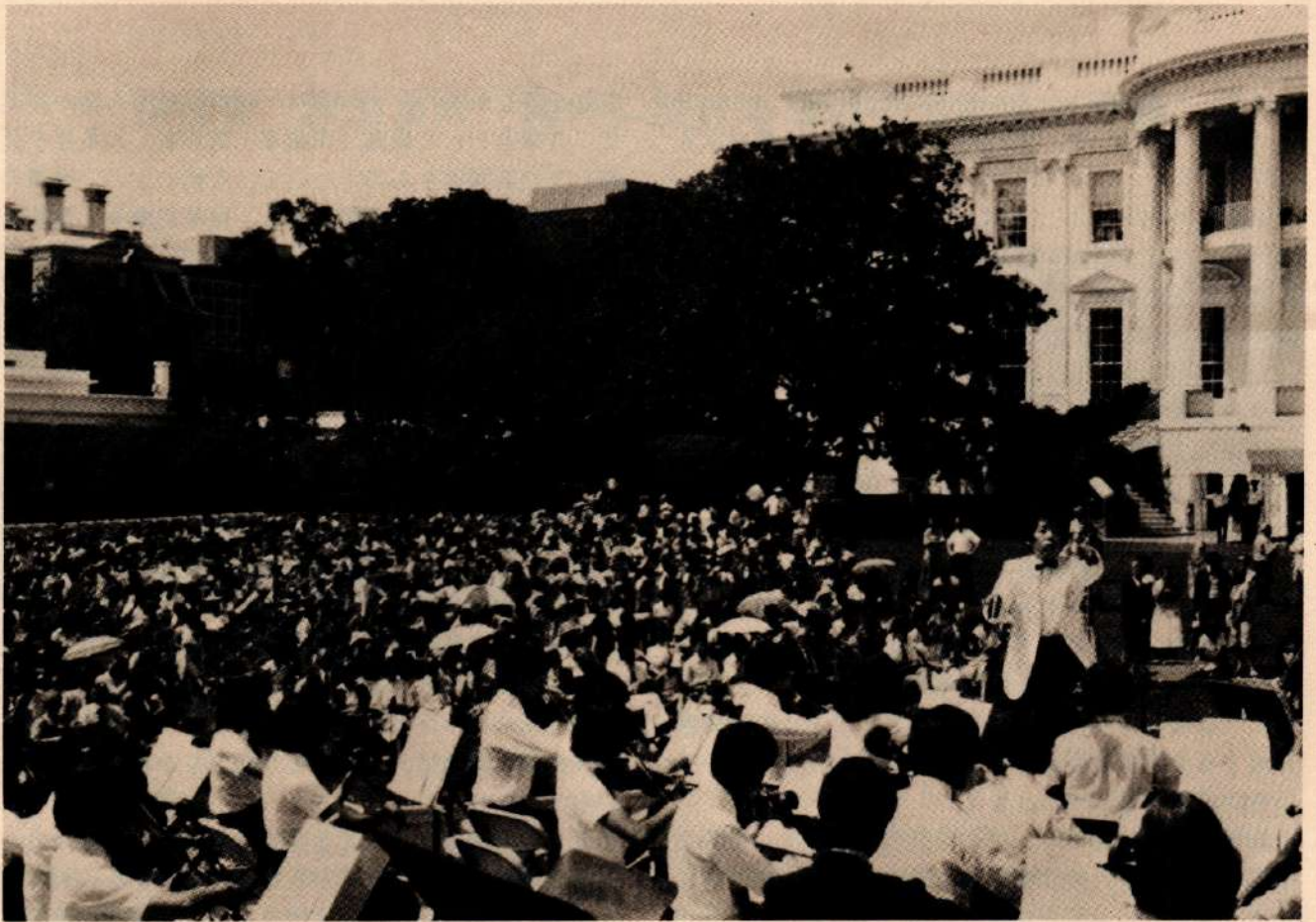
プログラム

ワグナー
WAGNER

ローエングリン 第一幕への前奏曲
LOHENGRIN VORSPIEL ZUM 1 AKT

ベートーベン
L. VAN. BEETHOVEN

交響曲第9番「合唱」
SYMPHONY No.9 “CHORAL”



ジュニア・フィル7年の歩み

- | | | | |
|----------|---|---------|--|
| 1972年10月 | 作曲家、塚原哲夫のもとに10才~20才の86名の団員が集り結成。 | 1975年5月 | エリザベス英国女王陛下歓迎御前演奏の栄を賜わる。 |
| 1973年1月 | 第1回定期演奏会（以後年2回ずつ文化会館、渋谷公会堂で開く） | 1976年7月 | 経団連クラブの依頼により「ファミリー・コンサート」に出演。 |
| 2月 | ビクターより教育レコード「音楽王国」（LP5枚組）発売。 | 1977年8月 | 約2週間にわたり米国親善演奏旅行し、日本人としては初のホワイトハウスで演奏会を行うなど、各地で大成功をおさめる。 |
| 3月 | 東京都の依頼により児童会館にて第1回サンデー・ジュニア・コンサート（以後隔月毎に行い現在第32回を迎える。） | 11月 | 英国BBC放送指揮者・ホプキンスを迎えコンサート。 |
| 12月 | NHKテレビ出演 | 1978年8月 | 第1回日本ナショナル・ミュージック・キャンプ開催。 |
| 1974年8月 | 3週間にわたってイギリスで開かれた「国際青少年オーケストラ祭」に日本代表として参加。英国、北ドイツなどちてラジオ、テレビにも出演。 | | 日本全国及びアメリカより1,300人の参加を得て、1週間オリンピック・センターにて合宿し、普門館にて大演奏会を開く。 |
| 12月 | NHKテレビ出演 | 9月 | TBSテレビ出演。 |
| 1975年1月 | TBSテレビ出演 | | |
| 3月 | 東京都主催、春休み音楽フェスティバルに出演。（以後毎年出演し、現在第5回を迎える。） | | |

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ名簿

	団長・音楽監督 顧問	講師 事務局長	塚 鈴 松 紙 小	原 木 本 谷 林	哲 鎮 善 一 道	夫 一 三 衛 子	久 山 恵 子												
(バイオリン)	相大	蘇橋	哲子	有田	義美	人佐	伊草	学恵	伊藤	藤名	さ佳	さ子							
	● 笠	間純	子美	● 片	岡真	美子	太草	草間	美奈	川近	藤木	かあ	おりき						
	佐々	木弘	をり	佐鈴	藤木	不尽	椎鈴	名保	夫恵	鈴速	木水	洋二	郎子						
	高樋	橋口	のぞみ	高福	橋田	義紀	波藤	立牧	典美	深山	水町	陽み	どり						
	宮山	崎辰	哉明	安柳	田元	郁元	山横	中山	俊朗	相原	中弥	ゆみ	生子						
(ビオラ)	● 小	川典	子薫	大前	芝沢	真彦	河森	村耕	勉児	谷青	木淵	道太	隆一						
	福栗	原庸	健子	石向	田山	真佳	星梅	野津	由理	● 菊	増地	知賢	也治						
(チェロ)	荒長	南野	智典	前木	島下	正雅	望稲	月畑	明功	相川	川誠								
(コントラバス)	金笹	岡木	篤子	● 鶴	田岡	真か	● 深	沢	功										
(フルート)	朝林	香川	聡真	● 堀	岡木	かほ	中水	島野	祐美	野村	マ	リ							
(オーボエ)	● 河	野岡	一公	平橋	本	啓一	星野	野	均	● 山	本昭	彦							
(クラリネット)	富浅	野敦	周子	● 西	田	東真													
(ファゴット)	相塚	原田	真人	阿久	津		石丸	靖治		千	葉正	規							
(ホルン)	● 磯	崎直	卓人	服部	裕明		藤枝	秀彰		持田		真							
(トランペット)	● 湯	本津	佳卓	近藤	孝司		坂本	篤		美	沢良	之							
(トロンボーン)	● 奥	小峰	徳司	佐伯	尚子		高良	久美子		平	木克	宣							
(打楽器)	● 小	林藤	祐一																
(ピアノ)	佐秋	藤元	みほ																
(コンサートマスター)	● 笠	間純	子隆																
(チーフリーダー)	谷村	道勉	子																
(リーダー)	河安	村田	郁子	樋口	のぞみ		前沢	真一		西田		豊							

●印：パートリーダー



1977年8月2日、米国ホワイトハウスにてカーター大統領夫人とご一緒の塚原哲夫先生

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラ

事務局長 小林道子

事務局 〒160 東京都新宿区南元町3

若越ビル 401号

☎357-8880・701-4219(小林宅)